

2021年度

事業報告書

公益財団法人 科学技術広報財団

はじめに

公益財団法人科学技術広報財団（以下、財団という）は、2021年度において、前年度に引き続き、時代の変化に対応して、広範な科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進のため、科学技術に関する情報を広く一般社会に発信し科学知識を普及すること、また、科学技術広報に関わる人材の育成を行うなど、科学技術に関する幅広い広報活動を進めた。また、社会的なコンプライアンスに基づくガバナンスの透明性を認識した経営を実施した。

財団が共同事業として指定管理業務を担当している新潟県立自然科学館、神戸市立青少年科学館及びふなばし三番瀬環境学習館においては、臨時休館や、イベントの中止など前年度に引き続き、新型コロナウイルス対策が求められた。2021年度決算は財団による経費節減努力や神戸市立青少年科学館プラネタリウムリニューアルのため制作した番組が2022年夏より上映となることから1398万円の黒字であった。

未だ新型コロナウイルス流行終息の兆しが見えないなかで、2022年度も厳しい影響が予想され、事業全般にわたって一層の経費の節減、新しい事業の開拓などが求められる見通しであり、財団経営は依然として大きな課題に直面している。

2021年度に実施した事業は以下の通りである。

I. 全体運営

(1) 理事会の開催

- ・ 2021年7月28日（水） 第30回理事会（書面による）
 - ① 理事長より2020年度事業報告書及び2020年度決算報告書について提案書が提出され、これを承認した。
 - ② 第11回評議員会の招集について承認した。
- ・ 2021年11月11日（木） 第31回理事会
 - ① 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の変更について承認した。
 - ② 第12回評議員会の招集について承認した。
- ・ 2022年3月18日（金） 第32回理事会
 - ① 2022年度事業計画書について承認した。
 - ② 2022年度収支予算書及び特定費用準備資金の取崩について承認した。
 - ③ 理事長より、今村常務理事が3月31日付けで常務理事・事務局長の辞任を届出をした旨の報告があり、これを承認した。
 - ④ 齊藤理事を常務理事に選任し、これを承認した。
 - ⑤ 齊藤常務理事を事務局長に選任し、これを承認した。
 - ⑥ 理事長および常務理事より職務執行状況を報告した。

(2) 評議員会の開催

・2021年8月16日（金） 第11回評議員会（書面による）

① 理事長より議事録署名人について提案書が提出され、承認した。

② 2020年度事業報告書及び2020年度決算報告書を承認した。

・2021年11月29日（月） 第12回評議員会

① 議事録署名人を選出した。

② 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の変更について承認した。

③ 役員の新任について、理事1名の選任を承認した。

(3) 役員・評議員及び職員の状況

① 役員の現状（2022年3月31日現在）

役職	定数（人）	現員（人）
理事長	1人	1人
専務理事	1人	0人
常務理事	2人以内	1人
理事	5人以上12人以内	9人 (うち理事長1名、常務理事1名)
監事	3人以内	2人

② 評議員の現状（2022年3月31日現在）

定数	現員（人）
5人以上12人以内	6人

③ 職員の現状（2022年3月31日現在）

区分	職員数（人）
本部事務局	4人
新潟県立自然科学館	10人
神戸市立青少年科学館	6人
ふなばし三番瀬環境学習館	9人
計	29人

④ 役員の異動

退任		就任	
退任日	氏名	就任日	氏名
2022年 3月31日	田中 正朗	2021年 11月29日	坂田 東一

- ⑤ 評議員の異動
なし

(4) 広報活動

最新の科学及び技術に関するトピックスを提供するほか、科学技術に関わる法人・団体とのネットワークを充実させることにより、ホームページ及びWEBを通じた財団広報活動の活性化を図った。

II. 事業

1. 科学技術の広報に関する調査研究及び刊行物等の編集及び頒布

(1) 科学ポスターの企画・作成及び提供

科学研究成果への興味喚起及び知識の理解増進を目的として、最新データに更新したヒトゲノムマップ第4版を制作し頒布を開始した。

IT販売窓口の拡充を図るため、AmazonおよびYahooshoppingへの出店を継続し、書店、科学館及び大学生協などの販売機関に対して、最新の商品情報の提供を行うとともに教材カタログに掲載するなど販売の拡大を継続した。

- ① 売上件数 : 4,167件
- ② 売上総数 : 12,078点
- ③ 取扱店舗数 : 科学館・博物館等ミュージアムショップ : 20店舗、
書店 : 8店舗、 大学生協 : 16店舗、 WEB : 4店舗、
教材卸 : 8店舗、 その他 : 2店舗
計58店舗 (2022年3月31日現在)

(2) 科学グッズの企画・開発及び提供

理化学研究所が製作したグッズ(周期表柄バンダナ、ニホニウムマグカップなど)を継続して販売するとともに、新商品も追加して販売した。

2. 科学技術に関する広報啓発並びに人材の育成

2-1. 科学館の運営及び運営支援

- (1) 新潟県立自然科学館の指定管理者(民間事業者との共同事業で期間は2020年4月から2027年3月まで7年間)として、管理運営業務及び科学教育普及事業を実施した。

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大に配慮しながらの運営となり、プラネタリウムやワークショップ・イベントの人数制限を年間通して行った。しかし、昨年、一昨年と中止した春季、夏季の特別展を開催することができ、久しぶりの賑わいを感じる事ができた。

2021年度来館者実績：172,481人

特記事項：県の要請を受け、2021年9月3日から9月16日まで新型コロナウイルスの影響により臨時休館し、当該期間に予定されていたワークショップ、特別展などのイベントは中止または延期となった。

- (2) 神戸市立青少年科学館の指定管理者（民間事業者との共同事業で期間は2018年4月から2023年3月まで5年間）として、企画業務及び科学教育普及事業を実施した。

2021年度来館者実績：195,929人

特記事項：市の要請を受け、2021年4月25日から5月11日まで新型コロナウイルスの影響により臨時休館した。またプラネタリウムは2022年7月のリニューアルに伴い2月21日より休止した。コロナ緩和に伴い夏休み期間中には特別展「カセイノヒミツ」を実施し、感染対策を考慮しつつもコロナ以前の運用に戻す努力をしている。また2020年度に引き続きコロナ禍での新しい科学館の活動としてアバターロボットを活用した取り組みを実施した。特に2021年度は新技術振興渡辺記念会から助成金をいただき実証実験として実施した。

- (3) ふなばし三番瀬海浜公園・ふなばし三番瀬環境学習館の指定管理者

（公益財団法人船橋市公園協会との共同事業／2017年4月から2022年3月の5年間）

三番瀬干潟を利用した環境学習プログラムの実施及びワークショップ、特別展・企画展等を企画・実施した。また、コロナ禍の影響を受けた昨年に引き続き、感染拡大防止と学びの継続の観点からインターネットを活用したオンラインワークショップを積極的に開催した。

2021年度利用者総数：60,141人

特記事項1：市の要請を受け、2021年9月1日から末日まで一ヶ月間臨時休館した。休館中は来館型ワークショップ、イベントも中止、オンラインワークショップのみ継続した。また開催中の夏期特別展は8月末に前倒しして終了した。

特記事項2：船橋市の実施した当該施設指定管理者募集に応募、書類、面接審査を経て次期指定管理者の選定を受けた（期間は2022年4月から2027年3月の5年間）

2-2. 展示・映像コンテンツの企画・開発及び提供

神戸市立青少年科学館向けオリジナルプラネタリウム番組として、子供向け番組「ゆいちゃんと宇宙でダンス!」、一般向けサイエンス番組「宇宙は寝て待て!?!～人工冬眠がひらく未来～」を制作した。

3. 科学技術普及・利用に係る広報・支援及び施設・展示の企画・立案

コロナウイルス流行をきっかけとして全国の科学館では、IT技術を活用した新しい活

動を模索する動きが出ている。当財団においても、オンラインによるワークショップの開催や、ITとロボット技術を組み合わせた科学館における新しい科学技術広報の在り方を追求する試みを行った。

以上